

吉野村吉司　「へエ……」
新公はそんなふうに笑ひました
新公は友禪染の繪具をこねる竹籠を持ってて來て、手洗鉢にダチヤグチャひとつ餅をこしき落します。そして園子のやうにまるめて緑闇にひろげた新聞紙の上にならへました
「餅つきといふもんはこれで中々骨の折れるもんやなあ」と主人は額から流れる汗をして黙つてゐます
と主人は新公に言ひました
「こんなやうなごくでも構へ

新公は指にひつついた餅をしやぶり乍ら答へます
以前煮た染料の色が未だくは青く染つて焼けました。それで青い色をした餅が出来上つてしましました
「こんな青い餅を食べたら、腹を悪くしないだらうか」と新公は心の中で思ひます、でも主人に遠慮が間絶えなく聞えます
二階で、主人は新公にチビリチビリしてねました。そしてはじめた手をふしみじみとした口言ひました

登つてゐますから台灣でも
熱くありません。こゝは昭
和五年所謂霧社事件のあつ
たところで、その戰跡を見
に來た様であります。然
し私は村を見たいのですか
ら、通譯の案内人を頼んで
バーラン社に行きました。

長方形の二間の家で傾斜地
に下向きに建ててあります
入囗が中央で家の中は土間
外地より稍々低く、梯子で

○夕映えて銅いろにしづめり空のくい
鷺とぶが見ゆ

○鎌物工場のあかき爐の火をこぼしみて
まゝ見るは吾のみならず
○あかあかと灯のともりたるウキンドに
はかたまりあひぬ

新 年 文 藝 募 集

一、短 歌（新年に因める歌）（山）
一、俳 句（春に因めるもの）
一、童謡（同）

べ切十二月二十日、以上何れも數に

魚地で自動車を換へ埔里に
行きます。こゝは全く台灣
の山間盆地になります。こ
ゝから尙は台車で四里を三
時間で上ります、こゝが眉
溪で人止めの關を越え一里
半の道を歩いて始めて霧社
の村に到着します。

This block contains a vertical decorative border with a repeating floral pattern. In the center, the title '刊夕' (Kan Shiki) is written vertically. Below the title, the date '行慶日九十月二十' (Kōkei no hi, 20th of October) is also written vertically.

ひます。……………（完）
崎醫大學長全教授辭
出△金星と土星一姫
し月に姿を没す（同）
社会の今 日
虫かすか月の名残を鳴
「小鳥網」 酒井耕影述
潮聲硯諍抄帳

提
まつたらしい。するとそれ
と引連ひに立つた村の世話
役らしいのが、
『今日の寄合は、これでお
開きに致します』
と宣した
「左様でござります。そ
にせ金を水内町の商人共
通用させ、自分達がお釣
出すときは、その一分銀を

祝履特價賣出
錦網傘代理店

科外
内臓外科
レントゲン線

とを尋ね
乾けば堅
前 に百回 やる。それを持
てどこな ど行つて、偉い
んになれよ』
『へエ……』
新公は答へます
『とにかく偉いもんにな
る工場の
公を相手
にか……』
益をなめ
て大分解
り廻し、
調になつ
て坐つて、醤油をかけた
い數の子と、それからグ

制限	薬用蛇	立ちど	ぐれを
12月20日	△新後撰和歌集生	白し	水掉女
(嘉元元)	△新律綱	溜涸れ	露塵に
を頒つ(明治三)	△	に	干ける
獨逸皇帝配所十餘年歸	り渡る	不勤尊	同
	書寫真精間々々にうつ しけり	青柳子	
	青寫真授業のベルが鳴		
	欣々子		

年貢米納めて何かより
夫 淋し 武門
床に移す薬牡丹にある
日のみ 同
川底の一枚岩や水涸る
坑口を出づる礦夫の息
一衛

か袖無しの
ません。
の月
洋々と流れるやけし後
際立ちて木に澄む影や
後の月
3 磯の香のたゞよふ爐添
や後の月 鷹子
山に住みて山になれけ
り後の月
このあたりみんな早寝
や後の月
露しめる風の冷たしさ
三夜 真砂堂
石うつくしき礎の月の
名残かな
後の月花はほゝけて芒
様にまことに
貿はは交易所
候をやつて
は限りがあ
と補足する
ある
好間石雞忘年
句會

ひま
（完）
日曜祭り
抄帳 靜聴硯聲潮
「小鳥網」
影迷 舞井酒

おでモグモグさせてみると、は何が基なんだね」
「この騒動の一番始まりで、それは山麓の水町内で、その商人共がちやら銀といふ錢を使ひ出してから始まつたのでござります」
「ちやら銀といふと？」
「へい、そのちやら銀と申すのは、何でも佐渡の金山でこれ、泥金に少しばかりの銀を混せて折へた一分銀なんださうでござります」
「つまり、見たとこばかり

「その説がね」
「任せするだ」
「なごの聲が、あちこちの
隅から起る
「では皆さん、明朝、私は
じめ四五人の世話役の方々
だけて、談じ込みに行く事
に致しませう。どうか今後
あること、軽はずみを慎
んで下さい。特に若い方々
にお願ひしますだ』
中年男は、かう云つて腰
茶屋の主人は懸命になつ
ませんわ」

すのも詮方あるまいと思はれますだ。しかし、この一揆とて必ずしも竹槍・鎌の類で亂暴を働くといふのでない。氣勢を揚げて吉田屋を脅すのが目的ぢや』割つて入つた中年の男の

ら走りまじり、扇に躰
ちらすけさの淺雪
佐々木信綱
火にある肺手油氣さ
らになし
講 論 談 史
戸隠山の怪秘
奇譚 (68)
丸山 寛雄作
眞木 浪畫
鳥人闘争 (四)
「どもかく總かにして下され、この場は私にお任せ下さらぬか。吉田屋が、こんどの談合を納得すれば宜いが、こんども亦、判らん事で通すやうであつたら、只今のお懲居の説を踏附ける

崎醫大學長全教授辭表提
出△金星と土星一所に會
し月に姿を沒す(同八)
社会の今日
役らしいのが
と引連ひに立つた村の世話
『今日の寄合は、これでお
開きに致します』
と宣した

云ふ噂ですが、わらいこと
にならなきや宜いがと思ふ
とります」
立つて行つた
云ひながら茶屋の主人は
防寒毛メリヤスと
七五三祝の贈りもの
子供毛革ショール
陳列 ツルヤ
婦人毛革エリマキ
平町田町
（元合津醫院跡）
電話五五九番

上ます
是非お参りの御歸りがけに御立寄
り下さいませ。
平町才穂小路一番地（田町大通り）
ライトイ 写眞館
電話 五三五五

専門耳鼻咽喉科開業
十二月十七日
診療開始

(入院・應需)
高柳耳鼻咽喉科醫院
平町驛前(電三三六)
醫學博士 高柳 博明

樂しい皆様の七五三の御祝ひが参りました。
わたくしは健やかに成長なさつた可愛いわたくしの娘方の姿を記念にお寫眞に撮つて保存いたしませう。

此のお出度い記念を當館も御祝ひいたさせて戴く意味で且つ從來の御立を戴いた御禮の印迄に特に割引

「左様でござります。その
にせ金を水内町の商人共が
通用させ、自分達がお釣を
出すときは、その一分銀を
出しておきながら、さてお
五三 祝履特價賣出し
錦綱金代理店

マツダ會聯盟 貴方の御家庭に
お手不足は御座いませんか
本會を御利用下さい……
直に家政婦を派出します。
親切叮嚀 …… 料金は極めて低廉です
姉産婦の御家庭 御病人の付添 留守番
炊事や雜用 年寄やお子さんの付添
平町紺屋町二(電話一二三)
上原家政婦會

場
若 松 真 狐 平
平 府 町 六 丁 目
申上ます。御引立に預りまして難有
御禮申上ます。
扱て燈下親しむの秋明るく經濟なマツダ
ランプは、自十一月十五日(の期間中)一ヶ御買上
至十二月卅一日(の期間中)一ヶ御買上
毎にマツダ會聯盟名入の粗品を差上
げることに致しました。これは前にも
申上げました通り再製不良品を安く販賣するも
のがありますので之等と區別して戴き度い心根
で御座います。宜歟此の機にマツダランプの真

新川町二七(電四六四)

モノサシ
マス

体温器

寒暖計

度量衡器具

白轉車ノ月賦販賣

御通知次第伺ヒ致シマス。

アビスヤ白轉車店

内樂局

電話四〇番

